いちじま小っ子

令和８年度
１０月号

♪　はじまりの音　♪

校長だより

朝夕の涼しさが増し、秋の深まりを感じる頃となりました。先日の運動会では、子どもたちの一生懸命頑張る姿に熱い応援をいただき、ありがとうございました。最近の子どもたちは、学習や友達との関わりを重ねる中で、統合の緊張がほぐれ、自分らしさを表す姿が増えてきました。互いに思いを伝え合いながら、個性や持ち味が見られるようになったと感じています。

人権と情報教育

さて、タブレットやインターネットが、子どもたちの学びや生活に身近なものとなりました。学校でも、一人一台端末を使って情報を調べたり、自分の考えをまとめたり、友達と考えを伝え合ったりする姿が見られます。子どもたちが端末を使い、学ぶ姿には、時代の変化を感じると共に、可能性を感じています。



体育科の授業で動きの確認や振り返りをする様子

こども家庭庁の調査によると、学校から配付されたパソコンやタブレットを使う小学生の約７割が、勉強や調べものに活用しているそうです。スマートフォンでは、動画を見たり、友達とコミュニケーションをとったりしています。

そのような中、「機器を使えること」に加えて、「情報をどう受け止め、いかに判断し、どのように使うか」という力を育てることが大切だと考えています。「この情報は本当？」「この言葉を受け取った人はどんな気持ちになる？」など、立ち止まって考えることが自分や誰かを守ることにつながります。根っこにあるのは相手を思いやる心、行動に責任をもつ心、違う考えを認める心だと私は思います。画面の向こうにもその言葉を受け取る「人」がいることを忘れないでいてほしいと願っています。

１９４８年（昭和２３年）１２月１０日の世界人権宣言を記念し、日本では毎年１２月４日から１０日まで人権週間が実施されます。多くの小学校では２学期に人権参観日を設けており、本校でも各学年の成長に合わせた授業をオープン参観で公開します。

１０月２２日（木）

４校時　１１：２５～　通常授業　　１～３年
　　人権講演会　４～６年
　　保護者

５校時　１３：２５～　人権授業

皆様、是非お越しください。

子どもたちが情報社会の中でも自分らしく、周りの人と支え合いながら歩めるよう、学校でも取り組んでいきます。ご家庭や地域の皆様も、見守り、支えていただければ幸いです。

情報を正しく使う力　×　人を大切にする心　＝　これからの時代を生きる力